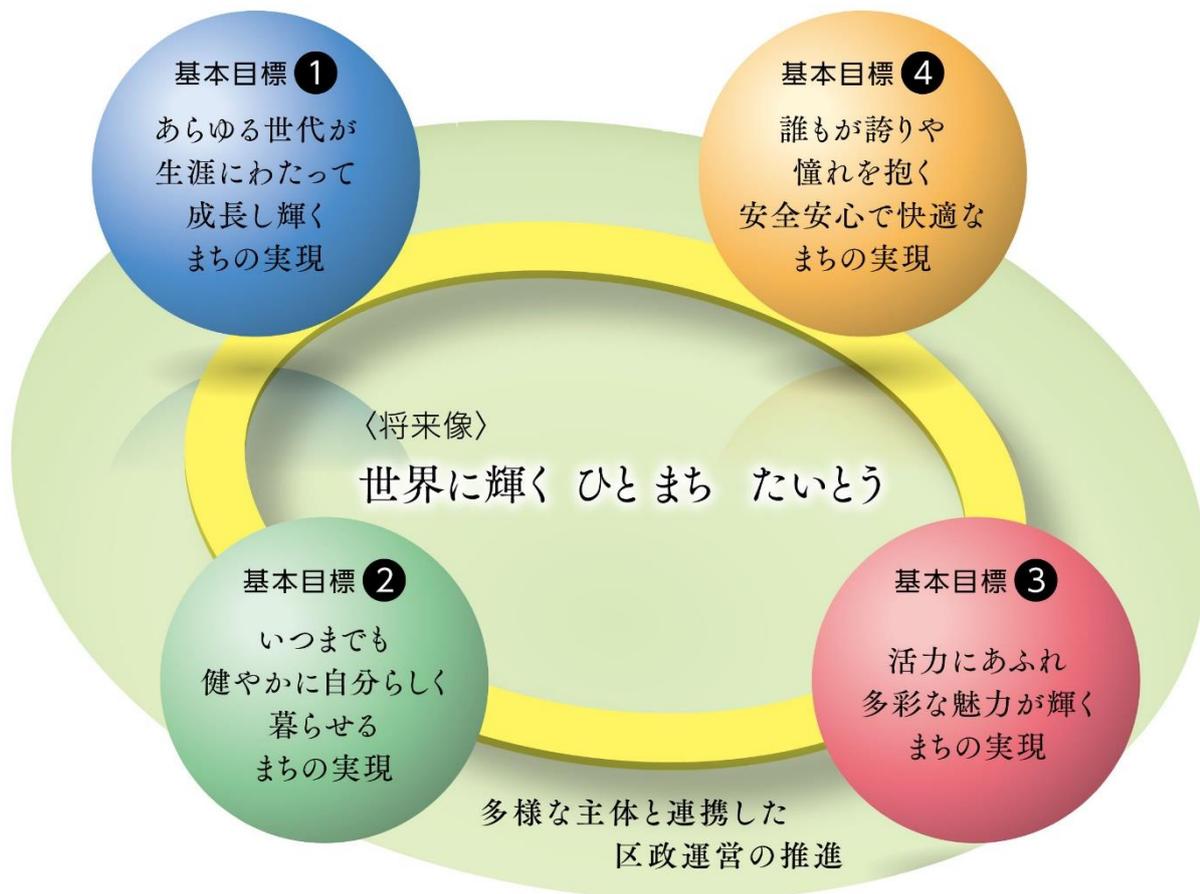


● 基本構想

基本構想とは、概ね 20 年後を展望して、台東区の将来像を描き、それを区民や地域で活動する団体など一体となって実現するための、区政運営の最高指針となるものです。

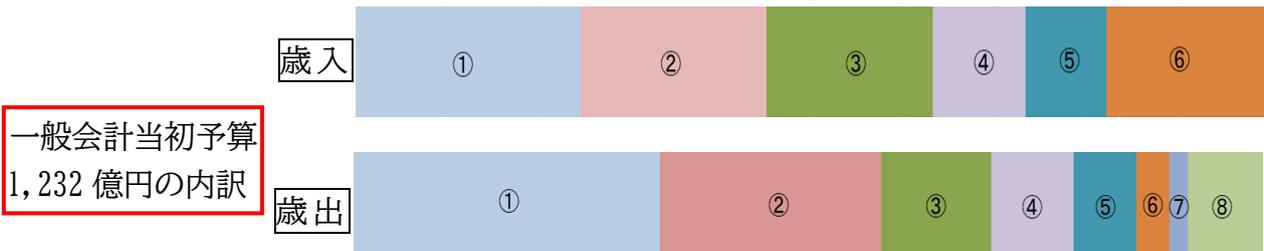
基本構想は、概ね 20 年後を想定した区の目指す姿である「将来像」と将来像を実現するための目標である「基本目標」、区政運営の基盤となる考え方を示した「多様な主体と連携した区政運営の推進」で構成しています。



● 区の財政

令和6年度の当初予算総額は、1,720億3,250万円で、5年度当初予算に比べて135億3,762万円の増（8.5%）となりました。このうち一般会計予算は1,232億円で、5年度に比べて115億円の増（10.3%）となっています。

①特別区交付金：305億円	③国庫支出金：223億1,327万円	⑤都支出金：109億4,334万円
②特別区税：250億2,474万円	④繰入金：125億434万円	⑥その他：219億1,431万円



①民生費：418億3,718万円	④衛生費：111億8,009万円	⑦文化観光費：26億691万円
②教育費：297億8,177万円	⑤土木費：84億127万円	⑧その他：102億5,146万円
③総務費：147億4,406万円	⑥産業経済費：43億9,726万円	

10,000円札に例えると・・・

①民生費：3,390円

高齢者や体の不自由な方の福祉のために

③総務費：1,200円

災害への備えや区民施設の運営、選挙のために

⑤土木費：680円

まちづくりや道路、公園の整備のために

⑦文化観光費：210円

文化・観光の振興と誘客の促進のために

②教育費：2,420円

学校や保育園の運営、生涯学習の振興のために

④衛生費：910円

健康づくりや環境の保全、清掃事業のために

⑥産業経済費：360円

地域産業の振興や商店街の活性化のために

⑧その他：830円

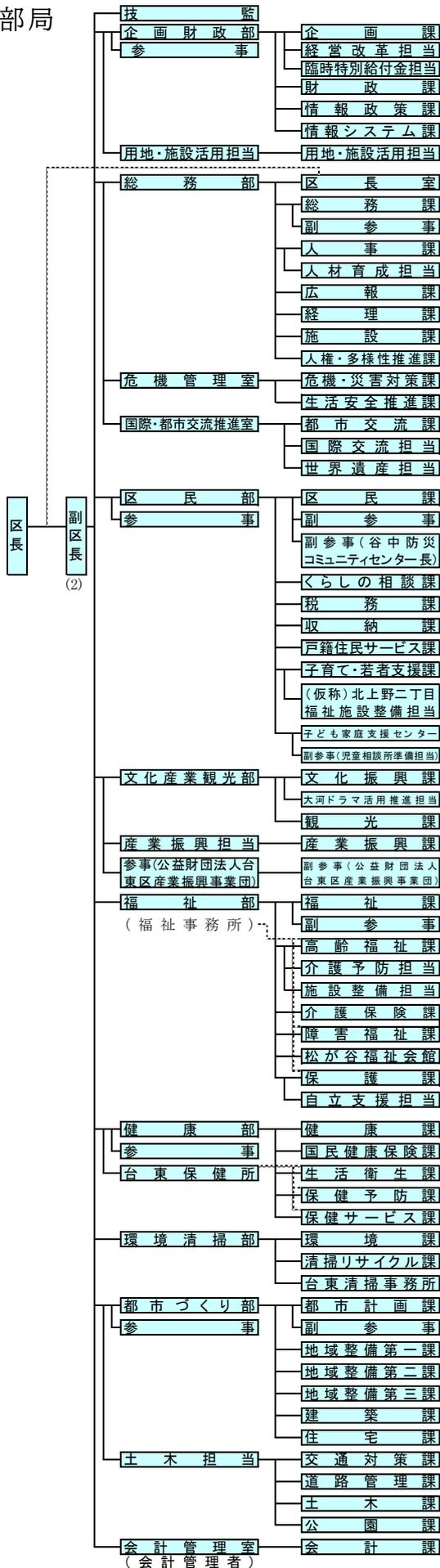
特別会計への繰出し、特別区債の償還にかかる費用、区議会の運営のために

●令和6年度の主な事業

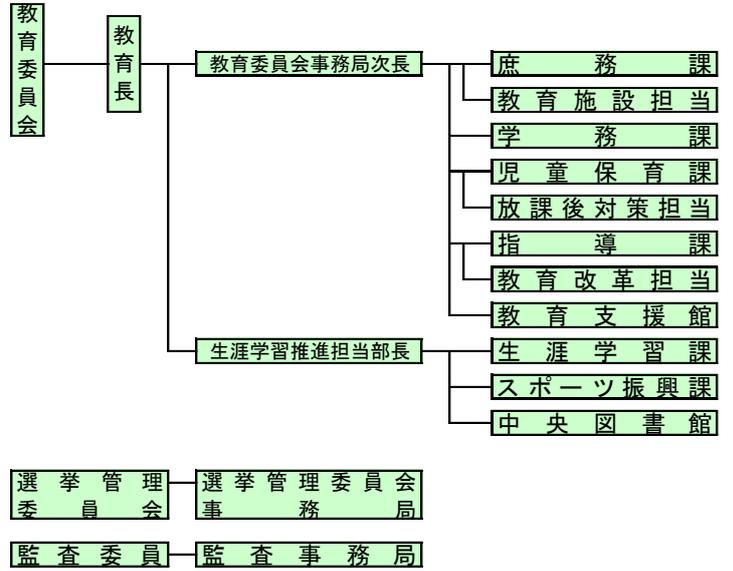
- フリーアドレスモデル実施
- 新たなAI技術の活用検討/要保護児童支援ネットワーク
- はばたき21相談室 ●水・食料・生活必需品の備蓄 ●生活安全啓発
- 谷中子ども家庭支援センター ●こども家庭相談支援 ●江戸に親しむ
- 大河ドラマ「べらぼう」活用推進（まちの賑わい創出の取組み）
- 大河ドラマ「べらぼう」活用推進（区内事業者支援による地域活性化）
- （仮称）朝倉響子生誕100年展 ●したまちミュージアムのリニューアル
- 経営相談 ●商店街活性化アドバイザー
- 高齢者ふれあい入浴 ●聞こえの改善機器購入費助成
- 高齢者デジタル活用支援/ICTを活用した介護予防活動支援/障害者支援のデジタル化推進
- （仮称）竜泉二丁目福祉施設整備/（仮称）特別養護老人ホーム「竜泉」/竜泉福祉センター
- 介護サービス人材確保/障害福祉サービス人材確保（事業者の採用活動支援）
- 介護サービス人材確保/障害福祉サービス人材確保（研修受講等費用助成）
- 歯科基本健康診査 ●がん患者支援 ●出産費用助成
- 我が家の省エネ・創エネアクション支援/我が社の環境経営推進
- 区有施設省電力型照明整備 ●プラスチック資源のリサイクル
- 新たな交通手段の検討 ●まちづくりDXの推進 ●浅草地区まちづくり推進
- 谷中地区まちづくり推進 ●安全で安心して住める建築物等への助成
- 魅力ある公園の整備/さわやかトイレ整備
- 障害児保育時間の延長 ●こどもクラブ整備助成/放課後子供教室運営
- グローバル教育の推進/中学生海外派遣 ●教育支援館運営
- 生涯学習センター機能強化等改修/男女平等推進プラザ機能強化等改修/教育支援館機能強化等改修/中央図書館機能強化等改修

● 組織図 (令和6年度)

◎ 区長部局



◎ 行政委員会



◎ 区議会

